

平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会社名 ミサワホーム中国株式会社
 代表者名 代表取締役社長 久 延 賢 次
 (コード番号 1728)
 問合せ先責任者 取締役総合企画部長 後藤重幸
 (TEL. 086-245-3204)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 5 月 15 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間(連結・個別)業績予想値の修正
 (1) 連結業績予想値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	15,100	115	65	40	円銭 3.47
今回修正予想(B)	13,872	109	68	23	2.04
増減額(B-A)	△1,227	△5	3	△16	
増減率(%)	△8.1	△4.6	6.1	△41.2	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成21年3月期第2四半期)	15,045	114	68	△243	△21.16

- (2) 個別業績予想値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	15,000	105	55	35	円銭 3.04
今回修正予想(B)	13,779	114	70	25	2.17
増減額(B-A)	△1,220	9	15	△9	
増減率(%)	△8.1	9.2	28.8	△28.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成21年3月期第2四半期)	14,919	102	54	△252	△21.87

- (3) 修正の理由

住宅業界を取り巻く環境には依然厳しいものがあります。当第 2 四半期累計期間の売上高は、当初前年と同程度を予想しておりましたが、受注は徐々に回復基調となってきたものの当初想定より厳しく、連結・個別ベースともに期初公表値に対して 8.1%減となりました。また、利益面では施工原価のコストダウン・販管費の削減や営業外収支の改善などにより、営業利益・経常利益は公表値をほぼ達成できる見込ではありますが、特別損失に投資有価証券評価損 33 百万円等を計上したため、当期純利益は公表値を下回る見込みです。

2. 通期の業績予想について

通期の業績予想の見通しにつきましては、現在精査中であり、判明次第にお知らせする予定です。

(注) 上記の業績に関する予想値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上